

JSTはイノベーションに本気で挑戦する貴社を応援します  
 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）  
 産学共同開発部  
 jitsuyoka@jst.go.jp / TEL: 03-6380-8140

### 1. JSTの産学連携支援制度「A-STEP」

JSTの「研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）」は大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を基に実用化を目指す研究開発を対象とした技術移転支援プログラムです。（<http://www.jst.go.jp/a-step/>）

研究開発フェーズの特性に応じた複数の支援タイプにより実施しており、以下の3つのステージから構成されています。

- ・ステージⅠ：大学等の研究成果からシーズとしての可能性を検証して顕在化
- ・ステージⅡ：顕在化したシーズの実用性を検証
- ・ステージⅢ：製品化に向けて実証試験を行うために企業主体で実用化開発を実施

### 2. 実用化開発を支援「NexTEP-Aタイプ」

A-STEP ステージⅢの「NexTEP-Aタイプ」は、開発実施企業による大学等の研究成果に基づく研究シーズ（特許）の実用化開発を支援する制度で、以下の特長があります。

- ・最大15億円の無利子の大型開発資金
- ・9割の開発リスクを国（JST）が負担
- ・返済不要な導入試験費の支援も可能

NexTEP-Aタイプは、開発費は最大15億円まで、開発期間は10年以下の実用化開発を支援します。

JSTは開発終了時に技術的基準で開発結果を評価し、成功・不成功を判定します。開発が成功と評価した場合は、支出した開発費を10年以内の年賦（無利子）、または一括での返済が必要となります。

開発が不成功と評価した場合は、支出した開発費の10%を返済いただくこととなります。そのようにして、開発に伴う技術的なリスクを国（JST）が負担します。

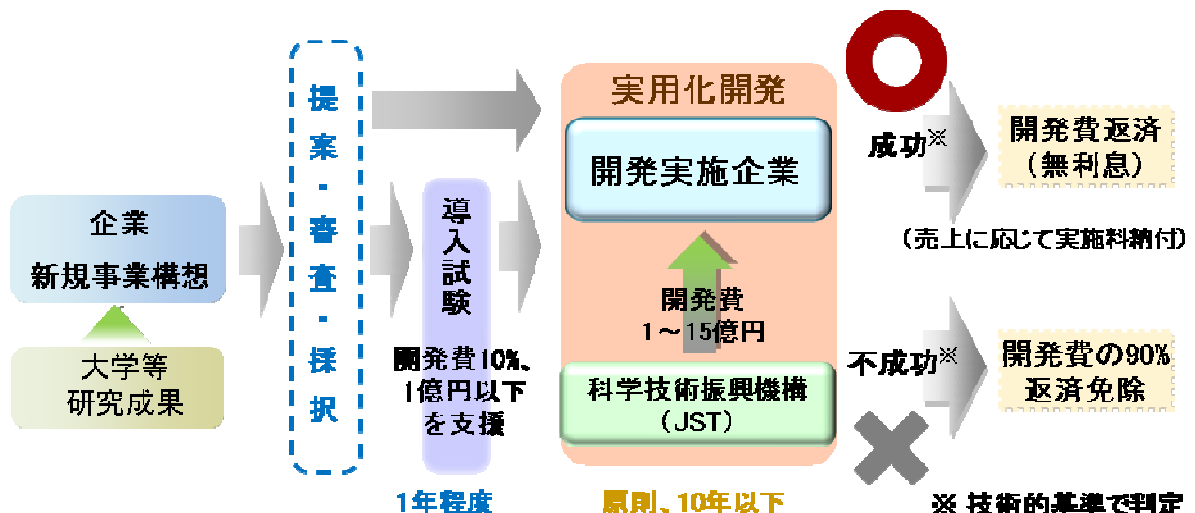
開発成果を実施（事業化）した際には、売上に応じて実施料を納付していただきます。JSTは実施料をシーズの所有者に配分します。

また、実用化開発に先立ち、返済が不要な「導入試験」を実施することができます。効果的にフィージビリティ相当の試験を実施し、スムーズに実用化開発に移行できます。

### 3. 「NexTEP-Aタイプ」随時受付中

NexTEP-Aタイプは、申請を随時受け付けております。2016年3月までは毎月末に申請を締め切り、当該月の申請案件について都度審査を実施いたします。

随時相談を受け付けております。上記連絡先までお問い合わせ下さい。



**NexTEP-Aタイプのしくみ（随時募集中）**